

日本大学 学生FD CHAmmit 第1・2回ミーティング報告書

日本大学学生FD CHAmmit スタッフ一同



日本大学

日本大学学生 FD CHAmmit では、
7月11日のミーティングでオンライン授業の
メリット、デメリットについて話し合いました。
そして、第一回の結果をもとに
8月22日のミーティングでは、

学生側、教員側の両者の視点に立ちオンライン授業
を改善するためにすべきことについて考えました。

この配信には、

私たち学生の声を教職員の皆様と共有することで日
本大学の教育をより良いものにしたいという意図が
あります。

この配信が少しでも参考になれば幸いです。



学生视点



課題の提出忘れが多い…

・授業ごとにクラス委員のようなものを（LINEのグループなど）作り、課題の締め切りが近いと通知したりすることで、わからないところを相談できる場もできる。

受講し始めると私の持っている機器ではこのアプリや資料に対応していなかった…

・自分の持つ機器がその授業に対応するか事前にシラバスでチェックをする。

携帯で受講していると資料の文字が読みにくい…

・最低限の学修環境（パソコン）を整えて受講する。

オンラインだと友達ができない…

・学生同士をつなぐオンライン上のイベントを開催する。

通信トラブルで課題を提出できなかった…

・通信トラブルに備えて課題提出は余裕をもって早めにする。

勉強したはずなのに頭に残っている気がしない…

・課題の意図をきちんと理解して受講する（課題を見てその答えを探すためだけに受講すると勉強にならない）。

Zoomだったりオンデマンドだったり課題の提出方法も様々で忘れちゃう…

・授業受け忘れや課題の出し忘れがないようスケジュール管理を紙に書いたりして行う（携帯のアラーム機能を活用したり）。

先生にもう少しこうしてほしいな…/これわかんない、まあいつか…

・わからないことやこうしてほしいなどあれば積極的に意見を発信し、自分で情報を掴みに行く努力をする。

ベットでゴロゴロ授業を受けてしまう…

・通常の授業同様携帯は触らず、メモなど取りながら受講する。

教員視點



教員によってオンライン授業に差が

- ・オンライン授業のクオリティー差をなくすために講習を開く。

受講する学生が後から授業に支障が出ないように…

- ・シラバスに事前に必要機器（パソコン必須など）や特別なアプリが必要ななら記載しておく。

メールでの質問は説明しにくい…

- ・授業後に質疑対応の時間を作る（zoomで何時から何時まで先生が待機する等）。

タイピングだけだと苦手な学生には不公平…

- ・タイピング技術でテストの解答に差が出ないように提出方法を考える（紙媒体の提出も認めるなど）。

音声のみだと頭に入りにくい…最後まとめてノートに書きたいのに…

- ・通常の授業のように目で見えて耳で聞いて受講できるようにパワポやPDFで授業のまとめを作成したうえで授業をする。

実験など特別な動画が別がないと分からない、伝わらない…

- ・実験など特別な授業についてはそれ専用の動画などを配信しオンラインでも伝わるように対応を改める。

オンラインだからと先生がテスト時間や期限を延長した…

- ・評価基準を明確に提示し、オンラインだからといって不公平にならないようにする（時間の延長などは「事前に機器によるトラブルは自己責任」と明記し、行わない）。

課題が毎週多すぎる…

- ・課題の量のバランスを考える。（学生が自分の勉強にも取り組めるように配慮する。例えば、課題の頻度を減らし、内容を濃くするなど。）

課題の提出方法や時間が毎回違う…

- ・授業によって課題の提出方法がまちまちだからできるだけ統一する。

特定の授業だけ提出方法が郵送ですごくお金がかかる…

- ・郵送での提出など他の授業と異なることはできるだけ避け、どうしてもそれが必要な場合は他の方法も検討する。

授業時間が今日は10分、次週は1時間…

- ・オンラインだからと授業時間が極端に短かったり、長かったりしないよう注意する。



やむを得ない学生の講義の欠席はどこで伝えればいい…

- ・ 授業をインターンなどでやむを得ず欠席する場合伝える場を設ける。

授業や課題が一方的にならないように…

- ・ 授業のまとめや、課題のフィードバックを行う。

課題を提出しても確認できない…

- ・ 課題を受理したかの確認メールの送付や課題の提出方法の統一。

動画だけだと一方的だし集中力が切れちゃう…

- ・ 退屈にならないように時々授業や課題に面白いコメントや、学生の興味あることを入れる。